

観光施設メディアラボ

公益社団法人国際観光施設協会編

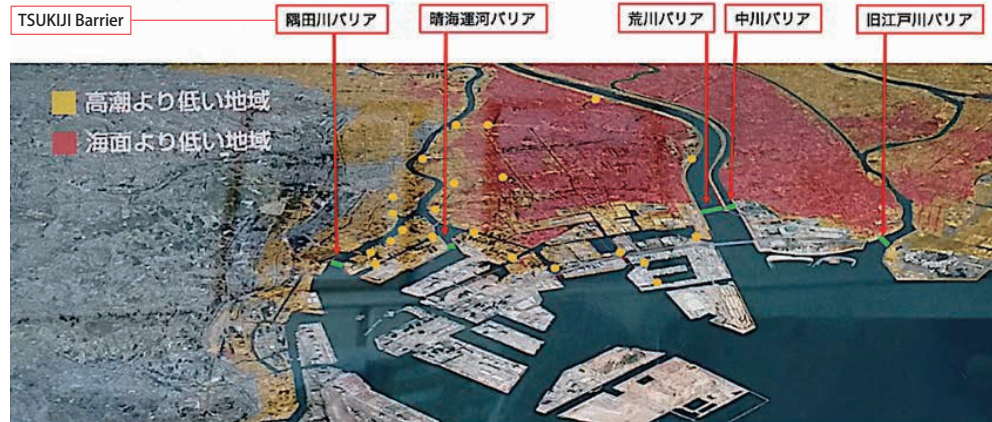


公益社団法人国際観光施設協会
観光交流空間のまちづくり研究会 専門委員
建築家・都市環境プランナー
A+A美来研究室

阿部 彰

未来の東京に必要な河口水門 「TSUKIJI Barrier」

東京都は水防法に基づき、東京湾沿岸の東京都区域を、高潮により相当な損害が生じるおそれのある海岸（水位周知海岸）として指定し、高潮による氾濫が発生する危険性を都民に周知する基準となる「高潮特別警戒水位」（想定し得る最大級の台風がもたらす高潮により、海岸や河



堤防の嵩上げより河口バリアの設置が合理的 「高潮・津波から東京を守るために」東京都港湾局作成動画に加筆

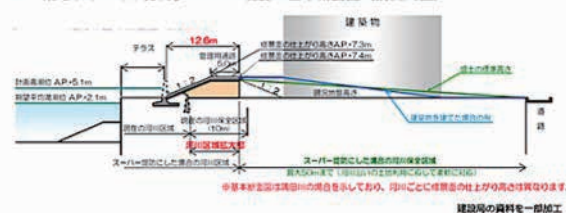
川から氾濫が発生する危険性の基準となる水位）を 2020 年度東京都水防計画に規定しました。

このメガ高潮対策も、迫りつつある首都直下型地震などと併せて、大規模災害に対する防御のために企業や諸団体に対して BCP（事業継続計画）の作成が義務化されて、ウォーターフロント沿いに存在する事業系や居住系建物は安全保持のための自家発電設備の移設や止水板設置などの整備に大きな負担を課すことになりました。場所によってはテナントが内陸部に移転する動きも目立つようになりつつあります。

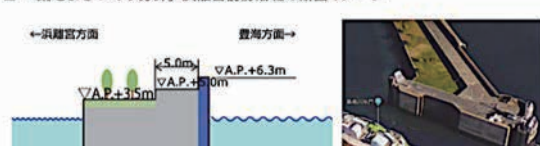
東京都が来春事業者を決定する「築地地区のまちづくり」の計画条件の中では、隅田川に面してスーパー堤防と防災船着場の整備を柱に水辺の賑わいづくりを推進しようとしています。目的はメガ高潮への対応策と説明されており、この堤防高さは浜離宮前の防潮堤防にも延長する計画となっています。

都内全域の川や水路に 5.5m として整備済みの堤防の上に、将来的に改めて 7.4m の堤防を嵩上げすることは、膨大な費用と時間が掛かります。知事が唱えるバックキャストから見た未来の東京のまちづくりにおいて、

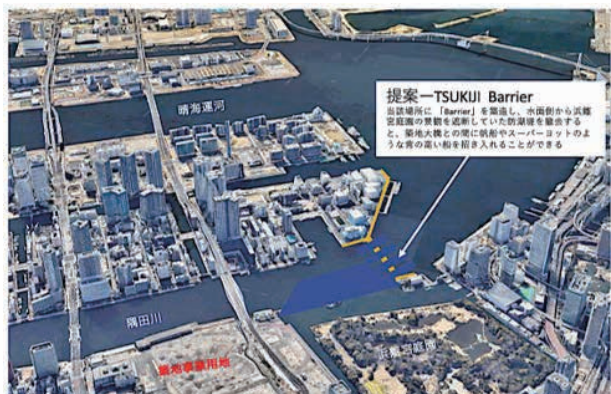
■「築地まちづくり方針」スーパー堤防の基本断面図（隅田川面）



■「築地まちづくり方針」浜離宮前防潮堤の断面イメージ



東京ベイエリアは津波よりメガ高潮対策が重要視





「TSUKIJI Barrier」が設置されると、浜離宮庭園を守る高潮堤防を撤去することができ、「築地地区のまちづくり」において水上からのアプローチが多様化する。



いま検討すべきは東京港に注ぐ河川の河口にバリアを設置することが効果的な考えではないでしょうか。

東京にスーパーヨットを招聘する

コロナ禍を経たことで、海からの国際観光のあり方もそのかたちが変わりつつあり、大型客船による爆買い観光はオーバーツーリズムとして反省する動きも感じられます。また国交省が船舶による訪日手続きの簡略化推進なども相乗し、スーパーヨットで航行するラグジュアリートラベラーによる訪日を歓迎する動きが目立ち始めました。世界の富裕層たちはスーパーヨット（長さ 80ft を超える個人所有の大型クルーザーを指しメガヨットとも言う）で東京を訪問できる機会を心待ちにしているという声も聞かれています。

船でレインボーブリッジを潜り、東京港のインナーハーバーに入ると、以前は大型クルーズ船と晴海客船ターミナルビルが東京のランドマークとして迎えてくれていましたが、クルーズ船の大型化によりレインボーブリッジを潜れない理由からこの建物も解体されて、施設は青海に移転し、マ

ンション群が建ち並ぶ景色になってしまいました。東京は世界の水辺都市の中でも、水上から都心にアプローチする魅力は大きく遅れをとっています。

また築地大橋を潜ることが出来る船は、桁下 AP+9.0 まで、交流拠点コンセプトとする「築地地区のまちづくり」において、それを超える高さの船を迎え入れる水域を確保することは重要ではないでしょうか。

そのためにも新しい街「TSUKIJI」は、例えばテムズ川のように、隅田川河口に「TSUKIJI Barrier」を構築すると、スーパー堤防の必要がなくなり、浜離宮庭園を視覚的に遮っていた防潮堤も撤去することで、19.4ha の広さは穏やかな水面と共存する未来東京の「魅力的な水辺の街」が形成されます。取り分け築地大橋の手前には隅田川を遡上できないスーパーヨットやプレジャーボート・ク

ルーザーなども立ち寄れる棧橋を整備することができ多様な船の訪問が可能になり、真の水辺交流と賑わいが生まれる拠点がで



スーパーヨットの実例

きあがるのです。

滞在するスーパーヨットの係留は隅田川の対岸の月島埠頭が有効な適地となり、新しいテーマとしてこれまでの東京ではお目にかかれなかった、川を挟んだ水辺の賑わい創出の可能性も生まれることでしょう。

「TSUKIJI Barrier」の整備は、船で隅田川河口に向ってアプローチする国際観光都市東京の Landmark として、築地・浜離宮・豊海が構成する水辺の賑わいトライアングルゲートは大きな魅力になること必至です。



月島埠頭に停泊するスーパーヨット（想定）